

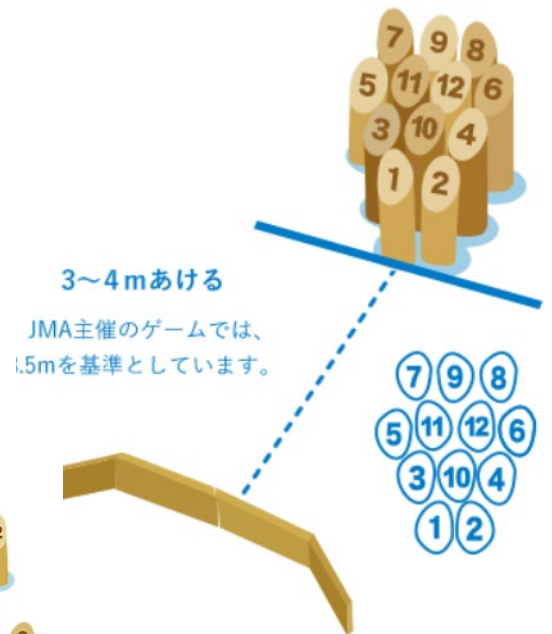
# モルック(フィンランド生まれ)

モルック(木の棒)をモルツカーリ(投げる位置を示す物)から投げて、倒したスキttl(木製のピン)の点数を競うスポーツです。

\*イラストや文中表現は日本モルック協会サイトより引用

## 競技概要

- 1人5回続けて、モルックをモルツカーリの手前から投げる。この時、モルツカーリに触れたり、踏み越えると反則となり0点になる。
- 1本しか倒れなかった場合は、倒れたスキttlに書かれている数字=点数となり、複数本の場合は、倒れた本数=点数となる。



- スキttlは、倒された地点で再び立てられる。そのため、ゲームが進むにつれてスキttlが広がり、倒すのが難しくなっていく。
- 30点ぴったりに出来たら大成功!!



## ●その他のルール

- スキttlが完全に倒れていない(重なって地面についていない)場合はカウントしない。
- 30点ぴったりにならなくても、5回まで投げられる。
- 3回連続スキttlを倒せない場合、正式ルールでは失格となるが、体験会ではOKとし、5回まで投げられる。



※上記は体験会用の葛飾ルールです。